

育成を目指す資質・能力

日本古来の思想を学ぶ国学が広がるとともに、ききんによって幕府や藩に不満をもつ人々が出現してきたことを理解する。

ICT活用のポイント

幕藩政治への不満の蓄積と歴史的事象の関係性を理解できるようにするため、協働学習支援ソフトを用いて情報整理を行う。

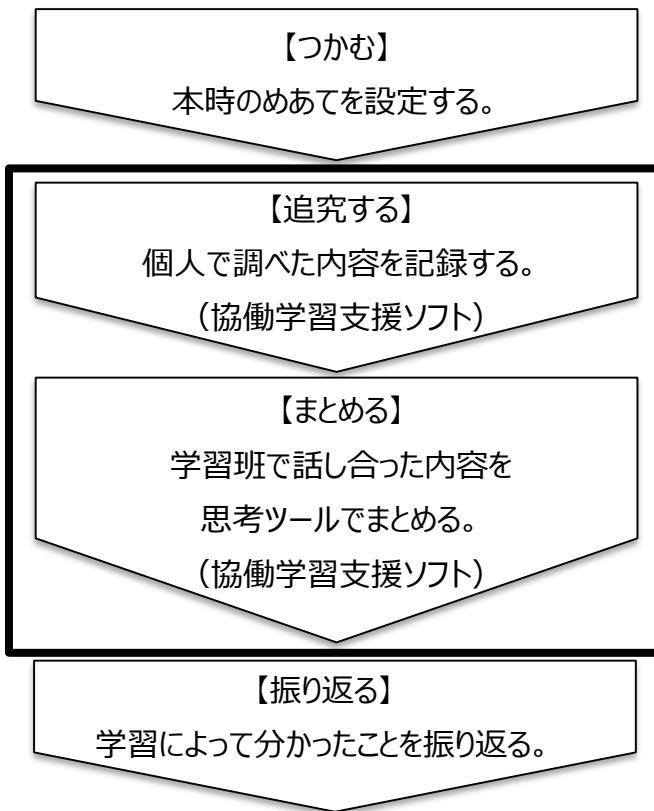
事例の概要

【事例におけるICT活用の場面①／追究する】

教科書と資料集を用いて、めあてに関する情報を個人で調べる。**協働学習支援ソフトの付箋機能**を利用し、**個人で調べた内容をクラウド上に保存**する。

【事例におけるICT活用の場面②／まとめる】

個人で調べた内容について学習班内で共有を行う。自分たちの調べた情報をまとめるために適した思考ツールを選択する。**学習班内で話し合いを行いつつ、めあてに対する答えである「グループのまとめ」**を協働学習支援ソフト上の思考ツールで作成する。



【社会・小6・「町人の文化と新しい学問」】②

【事例におけるICT活用の場面①／追究する】



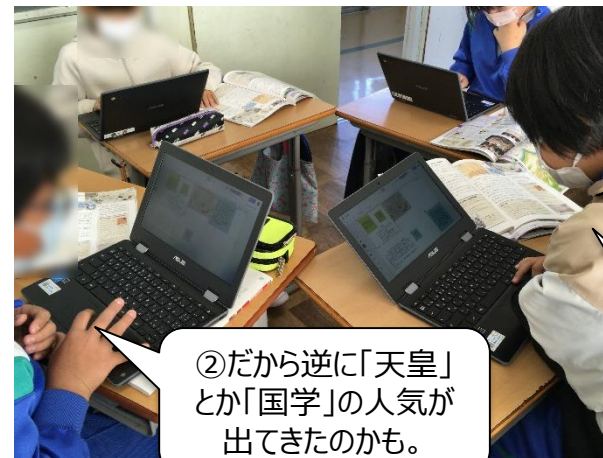
教科書に載っている「ききん」という言葉が今日の学習のめあてと関係がありそう。

付箋に保存しておこう。

協働学習支援ソフトの付箋機能を利用し、

個人で調べた内容をクラウド上に保存

【事例におけるICT活用の場面②／まとめる】



①段々と「藩」とか「幕府」が信用できなくなっていったんじゃないかな。

③この流れが分かるように「フローチャート」でまとめてみようよ。

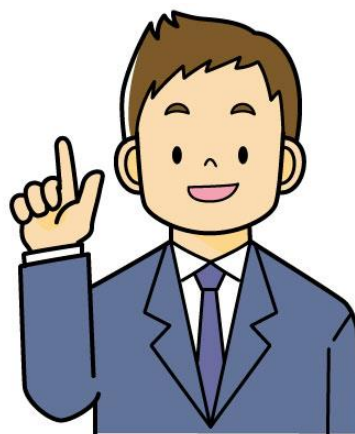
②だから逆に「天皇」とか「国学」の人气が出てきたのかも。

学習班内で話し合いを行いつつ、めあてに対する答えである

「グループのまとめ」を協働学習支援ソフト上の思考ツールで作成

協働学習支援ソフトの保存ファイルは、一つですが、**その中の作業シートは必ず人数分用意**します。（一つのシートを複数人で共有してしまうと混雑が発生してしまい、能率よく記録することができません。）

保存ファイルを一つにし、クラウド上に保存することで、**他の児童の記録もリアルタイムで見ることができるよう**になります。紙媒体や口頭での発表よりも、**はるかに多い情報量を個人の活動と並行しつつ共有**できます。



社会科の特徴である「**多面的・多角的な考察**」を行う力を育むうえで、**思考ツールは効果的な支援ツール**だと考えられます。

思考ツールは多種多様で、その使用目的も様々です。（資料によっては不向きなツールもあります。）児童が自ら思考ツールを選択できるようになるためには、**意図的・計画的に思考ツールにふれる機会を設け、児童が扱うことができる思考ツールの選択肢を少しずつ増やしていく**必要があります。